

## 震災復興土地区画整理事業

# 「森南第一地区」「森南第二地区」が換地処分



森南東線

森南地区は、神戸市の東端に位置し、国道2号とJR東海道本線に南北を挟まれた区域で、阪神・淡路大震災により約7割の建物が全壊又は半壊という大きな被害を受けました。

そこで、早期の復興及びJR甲南山手駅開設に伴う都市機能の更新をめざし、道路等の公共施設を一体的に整備し、安全で快適な市街地の整備を行うため、全部で3地区の震災復興土地区画整理事業を進めて来ましたが、このたび、第一地区と第二地区において換地処分をしました。

事業化においては、まちづくり協議会や自治会と協議を重ね、まちづくり提案などを受けることにより、平成9年9月25日に森南第一地区、続いて平成10年3月5日に森南第二地区の事業計画を決定し、事業に着手しました。

住民の熱意と協働の精神により、現在、両地区ともに道路の拡幅や新設、一部に防火水槽を備えたポケットパーク等の公共施設を整備してきており、地区の復興も進んでいます。

第一地区では着手以来約5年半、第二地区では約5年が経過し、2月14日付けで換地処分の公告を行いました。神戸市が施行する震災復興土地区画整理事業の中では、3番目の換地処分です。



ポケットパーク  
(本山中町一丁目広場)



本庄本山線  
(ととやみち銘板)

	◆森南第一地区◆	◆森南第二地区◆
1 名称	神戸国際港都建設事業 森南第一地区震災復興土地区画整理事業	神戸国際港都建設事業 森南第二地区震災復興土地区画整理事業
2 施行者	神戸市(3条3項)	神戸市(3条3項)
3 事業着手	平成9年9月25日	平成10年3月5日
4 施行区域	東灘区 森南町1丁目の一部	東灘区 森南町2丁目の一部、3丁目の全部 本山中町1丁目の一部
5 施行地区面積	約6.7ha	約4.6ha
6 総事業費	約57億円	約22億円
7 公共施設	道路 2,347m 都市計画道路: 森南東線 232m 森南線 198m (交通広場 約2700㎡) 区画道路(新設) 123m ポケットパーク(4ヶ所 約432㎡)	道路 1,575m 都市計画道路: 本庄本山線 222m 森南西線 189m 区画道路(新設) 26m ポケットパーク(2ヶ所 370㎡)

# まち育てサポーター

# 14年度 活動報告

神戸市では、環境、福祉、文化、教育などの分野で、地域づくり・まちづくりに関して経験や知識を有する民間の人材を「まち育てサポーター」として派遣する制度を平成14年度から始めています。サポーターは、区役所と一緒に、市民主体の地域づくりを支援しています。サポーターの活動内容は、各区の課題や個性に合わせて区が選定し、個性豊かな地域のまちづくりを支援します。

平成14年6月、10名のサポーターが委嘱され、矢田市長からは「皆さんのまちを愛する気持ちでぜひ地域の皆さんを支えてください」との激励がありました。

## ■まち育てサポーターの取り組み

### ★東灘区：子育てにやさしいまちづくり

東灘区内で活動している約50の子育てサークルに働きかけ、定例連絡会や交流会を開催しました。また、子育てに関する情報を集約・発信するためのホームページ開設に向け、準備をしています。



(東灘区子育てサークル交流会)



(灘区子供まち歩き)

### ★灘区：「灘百選」を活かしたまちづくり

灘区の魅力資源を集めた「灘百選」を題材に、子供たちを中心に「わがまちの百選」を探すためのまち歩きや、灘区の歴史を考えるシンポジウムを開催しました。

### ★中央区：商店街を中心としたまちづくり

主に旧葺合地域の商店街で、創作民話によるブランドづくり、懐古行列などの「秋華祭」、1月17日のメモリアルイベントの開催などに取り組みました。

### ★兵庫区：「やさしさと思いやりのまち兵庫」の推進

兵庫区には子育てサークルが殆どありませんでしたがサークルの発足に尽力し、サークルの交流会開催や子育て情報の収集を行いました。

### ★北区：子育て活動支援

育児中の母親相談や、地域子育て支援に関する情報の収集を精力的に行い、子育て支援マップや情報紙の作成などを行いました。

### ★長田区：地域づくり

長田区をふるさととして感じてもらうために、長田区にゆかりのある漫画家の遺作展の開催や、大日丘では住民参画による里山づくりに取り組むとともに、修学旅行生受入れのためのネットワークを立ち上げました。

### ★須磨区：須磨の魅力を活かしたまちづくり

須磨の魅力を活かして、観光PRのためのホームページをつくりました。また、旧大黒小学校を地域活動の拠点とするための検討や、地域の手づくりイベントの支援を行いました。

### ★垂水区：青少年が地域で活躍できるまちづくり

青少年が企画・実施する「よさこいまつり」の開催を支援しました。また、区内4つの高校で、高校生の日常生活と地域の関わりについてのアンケートを実施しました。今後は高校生によるまちづくりフォーラムを立ち上げる予定です。

### ★西区：学び（地域間交流の実現を目指す）

地域や大学が連携・交流するきっかけづくりと情報交換のため「学園都市連絡会議」を創設し、新しいスポーツによる地域交流イベントを開催しました。



(大日丘での里山づくり)



(学園都市キンボール大会)

## ■一年を振り返って（「市長との懇談会」3月26日）

サポーターが一年間の活動を報告し、市長と地域やまちについて語り合う懇談会が開催されました。サポーターからは「店主も青少年も子育て中のお母さん達も、それぞれが地域に関心を持っていたり、何か役に立ちたいと考えているのに、気軽に参加できる場や機会がない。各々が地域での自分の居場所を求めているのでは」、「それぞれ方法や目的は違っても、まち育てサポーターの役割は、こうした人々に地域で活躍する場やきっかけを提供し、コーディネートすることだと思う」という意見が出ていました。



(懇談会風景)



(矢田市長と加藤先生)

サポーター選考委員長の加藤先生（神戸商科大学教授）も「皆さんはまちの資源を掘り起こし、解釈を加えることで新たな価値を生み出す『まちの編集者』として活動してくれたと思う」と、成果に目を見張っていました。矢田市長は「地域に入り込み、様々な出会いの中で地域と共に新しいものを生み出している」と高く評価されていました。

(企画調整局 総合計画課)

## “カルチャー・ショック(!?)インドネシア” —その6 “Unbelievable in Indonesia” —

インドネシアでは、日本で経験できないこと、したくなくても経験してしまうこと(!?)を数多く経験しました。今回はその一例をご紹介します。

### 1. 高速道路を逆行する自転車

いきなりですが、これを見て驚きませんか。ジャカルタの空港と市街地を結ぶ高速道路ですが、時速100km以上で走行するクルマの横を、自転車



が逆行しています。ジャカルタに到着した外国人がまずカルチャーショックを受ける風景です。高速道路に限らず一般道でも、日本人なら跳んで逃げるほどの猛スピードを出しているクルマの横をインドネシア人は平気で歩いています。観察してみると、エレベーターでも人と密着するのも気にしませんし、渋滞時のクルマの間隔もとにかく狭い。人・モノとの距離の国際比較をしてみると、案外おもしろいカタ方の渋滞カタ方の渋滞もしれません。勿論、日本人は「遠い」ほうでしょうね。



### 2. 線路泥棒

インドネシアに赴任中、インドネシア国鉄の事故が多発していました。その多くは、運行システムの問題や、劣悪な待遇に起因する運転士の士気の低下などが原因のようでしたが、他に「線路泥棒」があります。大型機械が少ないインドネシアで、線路を盗むのに機械を使うことは考えられませんが、線路を外して、大勢で持って運んでいくのでしょうか。日本でも高度成長期に資材不足から「鉄筋泥棒」なるものが存在していたようですが、盗んだ線路が売り物になり流通ルートに乗っていくのも信じられませんが、何より盗んだ線路の跡を列車が通ることをどう思っているのか…。

### 3. クルマを呪術で修理

インドネシアではクルマを呪術で直すということがごく当たり前に行われています。聞くとところによると、修理にかかる費用は普通の自動車修理工場と同じで、大破したものは呪術では直らないとのこと。それなら、最初から普通のところで直せばいいのに…。クルマだけでなく、病気を治すのに呪術を信じている庶民はまだまだ多いようです。近代的なビルのすぐ裏の集落で、

このようなことが行われていることが信じられますか。



〔呪術による  
自動車修理工場〕

修理作業中は、表からは中が見えないようにしているらしい。

### 4. 本当に資本主義経済？ —英会話学校でのお話—

私の友人が某英会話学校に行った時の話。友人はグループ・レッスンで、「お店」の設定でロール・プレイングをすることになりました。「このお店は売上げが悪いので、何とかして儲かるようにしたい。どうすれば儲かるか。英語で議論しましょう。」ということになったらしいのです。日本人なら、値下げして客を増やすことを考えると思いますが、その場にいたインドネシア人は「客が減るのだから、儲けがなくなる。値上げして儲けを増やさないといけない。」と強く主張し、英会話どころではなくなりました。こんな発想は日本で考えられますか。昔の国鉄以外(笑)。なんと大胆なインドネシア的資本主義経済の思想…。

友人曰く、インドネシアで英会話学校に通うなら、グループ・レッスンはそもそも発想が噛み合わないの、個人レッスンに限るとのこと(笑)。

### 5. 「オムそば」は疑った料理？

インドネシア人と日本料理屋で食事をした時の話。「オムそば」を食べ「おいしい。」と言ったので、私は「今まで食べたことがない？インドネシアにも玉子や麺があるから、作れるでしょ。」と言うと、「素材はあっても、そんな発想がない。」という返事。よく考えると、インドネシア料理は焼いたり、揚げたり、単純な調理方法のものがほとんど。食べることに異常な貪欲さを示す日本人、そしてメニューが豊富な日本料理。「ピザ風お好み」や「サラダ巻」を食べる日本人は国際的には特殊な存在なのかもしれません。欧米人の食事意外とシンプルですものね。

### 6. 最後に

今回まで6回に渡ってインドネシアのことをおもしろおかしく書いて来ました。インドネシアを茶化しているように感じとられた方がいるかもしれませんが、我々日本人が「普通」と思っている価値観は、実は国際社会からすると「普通でない」ことも多く、また、人間の生き方としてインドネシア人に学ぶべきところが多々あるということを強調したいがためにそう言ったことをお許し下さい。また、別の機会にインドネシアのことをご紹介できることを楽しみにしております。

Sampai jumpa! (サバ イ・ヅ ユバ = また会いましょう)

若松謙一 (企画調整局総合計画課地域政策係長)

まちづくり等のグループ討議の方法として今流行りのワークショップ（WS）。

そのお手伝いをする「WS隊」はあっちでもこっちでも大いそがし！

このコーナーでは、そんな私たちWS隊の活動をみなさんにご紹介したいと思いまーす（＾＾）／

WS隊活動中 Part 1

# 「WHAT IS THE 公園WS?」

by 松田（まちづくりセンター・WS隊）

つい最近参加したWSは、3月23日にHAT神戸内の地域福祉センターで行われた「生田川公園WS②」。1月に行われた1回目では、集まった地域住民のみなさんが、「公園でしてみたいこと」「どんな公園をつくりたいか」を中心に意見を出し合っ、なかなか白熱したWSになりました（＾＾）

2回目の今回は、実際に現地で広さを体感したり、野鳥を探したりと、グループごとに敷地内を自由に探索！



みなさん現地に出て実感が湧いたのか、その後の室内WSでも、「野鳥が集まるような公園がいい！」「水遊びが出来るようなせせらぎがほしいねー」などなど、活発な意見が飛び交いました。これまでの公園というと、行政側が考えた青写真通りに出来上がることが多かったんですが、これからのまちづくりは市民が主役！！ぜひ自由な発想で、みんなが訪れたいような公園を目指してほしいですねー♪

次回は5月下旬予定。このWSを通じて最終的に生田川にどんなステキな公園が出来るのか…。乞うご期待！！

## まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

4月 1日(火)～28日(月)	地球温暖化啓発パネル展	神戸市環境局
-----------------	-------------	--------

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
4月 3日(木)～ 8日(火)	兵庫倶楽部写友会写真展	兵庫倶楽部写友会
4月10日(木)～15日(火)	第9回遙洋会油絵展	遙洋会
4月17日(木)～22日(火)	第22回聖雲会水墨・南画展	聖雲会
4月24日(木)～29日(火)	第10回いくた15人展	いくた15人会
5月 8日(木)～13日(火)	新樹会第3回水彩画展	新樹会

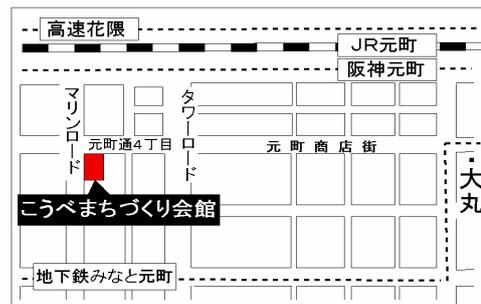
### 投稿のお願い

まちづくりセンターでは、「あーばんとーく」が読者の皆様の少しでもお役にたてるように、まちづくり協議会が行う地域でのイベントなどの行事案内やまちづくり協議会の活動の記事を募集しています。

誌面の許す限り最大限取り上げていきたいと考えています。

ご希望によっては、取材にお伺いすることもできます。

まちづくりセンター（電話361-4523）までご一報ください。



最寄駅  
地下鉄海岸線みなと元町駅西口から1分  
高速花隈駅東口から3分  
高速西元町駅東口から5分  
JR・阪神元町駅西口から8分